

第38回

ナショナル・ トラスト 全国大会

報告書

2021 2/20[±] 無料オンライン開催

2月24日から3月31日まで
YouTubeでアーカイブを公開

www.ntrust.or.jp

日本の美しい自然は、

思いやる心で守られます

後援 | 環境省、日本ビオトープ管理士会
協賛 | (株) 竹中工務店、三井住友信託銀行 (株)



公益社団法人
日本ナショナルトラスト協会
The Association of National Trusts in Japan



全国大会は、ナショナル・トラスト活動をより多くの方々に知っていただくとともに、トラスト団体や支援者の皆様との交流を図るため、毎年開催しています。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、初めての試みとして、オンライン(動画共有サイトYouTubeでの無料公開)での開催となりました。

「ナショナル・トラスト」の歴史や考え方を分かりやすく解説、全国各地のトラスト団体が制作した活動紹介の動画のほか、当協会の令和2年度の活動報告も配信で行いました。

配信全体の通しの録画は、当日から3月末日まで公開しました。

4月以降は、開会・閉会の挨拶を除き、個別にご覧いただけます。

パソコンで

www.ntrust.or.jp

スマホ・タブレットで



プログラム

14:00 開会挨拶 会長 池谷奉文

14:07 ナショナル・トラストの解説(各5分)

ナショナル・トラストのはじまり

ナショナル・トラストはなぜ必要か

14:17 各地のトラスト団体の活動紹介(各5分)

(公財)天神崎の自然を大切にする会

(公財)鎌倉風致保存会

しれとこ100平方メートル運動推進本部

NPO法人トラストサルン釧路

認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト

認定NPO法人カラカネイトンボを守る会

(公財)埼玉県生態系保護協会

(公財)さいたま緑のトラスト協会

(公財)トトロのふるさと基金

(公財)大阪みどりのトラスト協会

(公財)日本生態系協会

(公社)生態系トラスト協会

(公財)妻籠を愛する会

特例認定NPO法人愛宕山てっぺんの森を守る会

(公財)柿田川みどりのトラスト

15:35 協会からの報告(5分) 事務局長 関 健志

15:40 閉会挨拶 副会長 漆畑信昭

*以下、文中および動画中の「今年度」とは、第38回全国大会の開催された、令和2年度(2020年度)を指します。

本来ならば皆様とお会いして催したかったのですが、新型コロナの感染拡大防止のため、今回は初のオンライン開催となりました。

当協会は今年度、2か所の新しいトラスト地を取得しました。ひとつは奄美大島で、アマミノクロウサギやリリカケスなど世界的にも重要な野生の生きものを守るために、龍郷町にある1.7haの森を取得しました。もうひとつは対馬で、こちらはツシヤママネコも生息する土地をご寄付いただき、当協会にとって

56番目のトラスト地となりました。

このように、自然や野生生物を守るということは土地を守ること、つまり土地を買うことです。私たちもトラスト地を確保しますが、国も国家の土台として、都道府県や市町村も地域の土台として、土地を確保し自然を守ることが重要です。

持続可能な地域をつくるためには、行政が各地域で30～60%の土地を確保することが必要だと国際的に言われています。そうした世界の動きを見つつ、全国の皆様と

開会挨拶



(公社)日本ナショナル・トラスト協会
会長 池谷奉文

も情報を共有しながら、当協会は今後も美しい国づくりに向けて積極的に活動して参りたいと思います。

今回の全国大会は…

初めてのオンライン開催

配信はYouTubeを利用し、全国どこからでも無料でご視聴いただくことができました。

これまで以上に多様な層の方に視聴いただき、公開後3週間で視聴数は1,000回を超えました。

コンパクトに5分で

普及・広報の効果をより高めるため、「コンパクトに」「分かりやすく」をモットーに、動画はすべて5分以内にまとめました。

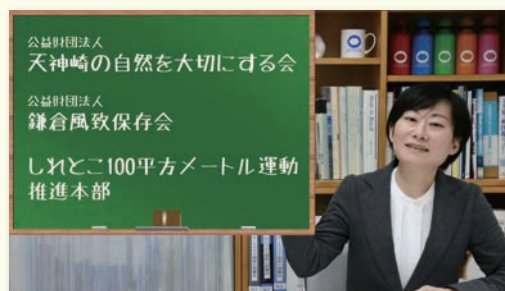
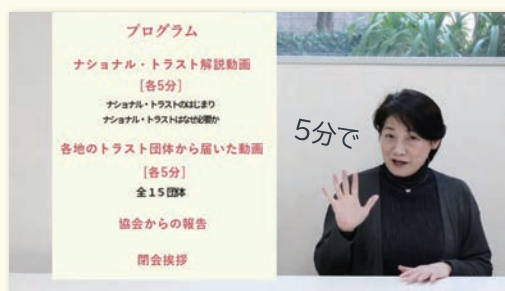
見応えのあるトラスト団体の動画

会員団体によるトラスト活動を紹介する動画も、それぞれ5分以内に納めていただきました。15団体にはたいへん見応えのある動画を用意いただきました。

わかりやすい解説動画 & 活動報告

トラスト活動の基礎的な解説動画を2つ作成し、ナショナル・トラストのことをよく知らない方やお子さま方にも理解しやすいよう工夫しました。

また、法制度の改正に向けた働きかけや普及啓発、土地の取得など、全国組織としての当協会の活動についても5分で報告しました。





湖水地方 グレートラングデール

ナショナル・トラストのはじまり

ナショナル・トラストの解説

ナショナル・トラストは19世紀のイギリスで始まりました。産業革命に伴い身近な自然や田園風景が急速に失われる中、美しい自然や歴史的な環境を買い取って守る方法が市民より考え出されました。1895年に非営利団体の「英国ナショナル・トラスト」が設立され、国民からの寄付金で自然や歴史的な環境を買い取り、国民のために守っていく活動として広がっていきました。絵本「ピーターラビット」の作者、ビアトリクス・ポターも熱心な会員で、本の売り上げ等で購入した土地や建物を寄付するなど多大な貢献をしました。彼女の愛した湖水地方の風景は今も変わ

らぬ美しさを保ち続けています。

日本のナショナル・トラストは鎌倉で始まりました。高度経済成長期の1964年、鶴岡八幡宮の裏山である「御谷の森(おやつのもり)」が宅地造成の対象となり、開発計画を知った市民はこの森を守るために立ち上がりました。その波は全国に広がり、市民や企業からの寄付金に市の援助金を合わせて森の買い取りが実現しました。開発優先の時代にあって市民の力で開発を防いだ、歴史的な出来事です。これを契機に、開発の危機から自然や歴史的な環境を守る方法として全国各地に広がっていきました。

ナショナル・トラストとは？

ナショナル・トラスト活動は、トラスト団体が市民のみなさまから託された寄付金や遺贈で自然や伝統的な建物などを買い取り、子どもたちや将来世代のために守っていく活動です。

ナショナル・トラストは…

美しい自然を守る 確実な方法

私たちの生存基盤である自然の生態系は、「土」「水」「大気」「太陽の光」「野生の生きもの」から成り、それらは複雑に関わり合って成り立っています。ナショナル・トラストでこの「土」の部分である「土地」を確保することができれば、その上に生える草や木々を守るだけではなく、食う、食われるの関係にある多くの野生の生きものを含め、自然の生態系をまるごと守ることができます。

そうしたことから、ナショナル・トラストは2015年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の「14.海の

豊かさを守ろう」や「15.陸の豊かさを守ろう」と目的が合致しますし、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」も様々な主体との連携で成り立つトラスト活動に大きく関わっています。

日本では、行政による保護区の指定や公有地化の対象から外れている自然地が多くあります。そうした場所を市民が守りたい時に力を発揮するのが、ナショナル・トラストです。それぞれの地域で自然という財産を市民の力で買い取り、持続可能な地域づくりにつなげていく、大切な活動です。

ナショナル・トラストはなぜ必要か

ナショナル・トラストの解説

持続可能な社会へ

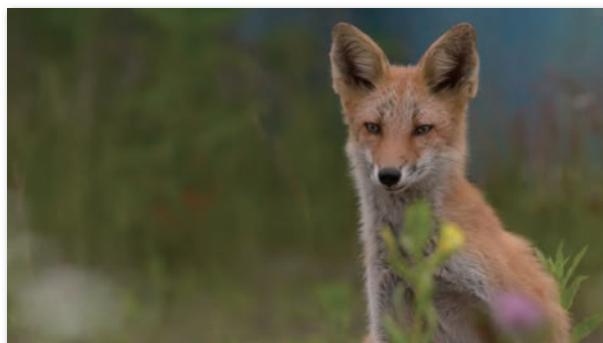
各地のトラスト団体の活動紹介



(公財)天神崎の自然を大切にする会



(公財)鎌倉風致保存会



しれとこ100平方メートル運動推進本部

先駆者たち

多くの方が「ナショナル・トラスト」という言葉を知ったのは、こうした活動がメディアに取り上げられたことがきっかけではないでしょうか。

60年近い歴史がある日本のナショナル・トラストの先駆けとなった3団体です。



認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト

貴重な湿原を守る

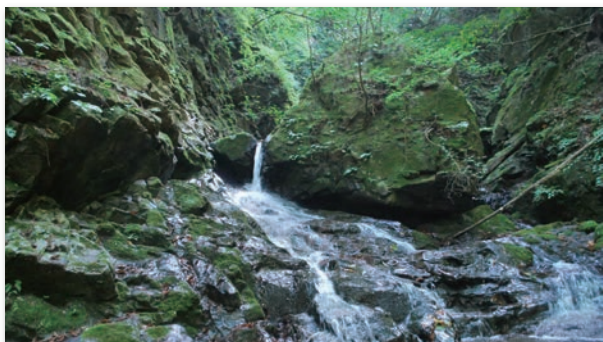
国内でもトラスト活動の盛んな北海道で、貴重な湿地環境を守るトラスト活動に取り組む3団体です。



NPO法人トラストサルン釧路



認定NPO法人カラカネイトンボを守る会



(公財)埼玉県生態系保護協会



自然護岸の河畔林
希少な林床植物が自生

(公財)トロロのふるさと基金

埼玉県の自然を守る

首都圏にあって宅地開発などの自然破壊が急速に進む、埼玉県で活動している3団体です。

雑木林や水源の森などを対象に、様々なトラスト活動に取り組んでいます。



(公財)さいたま緑のトラスト協会

生きものを守るために

ゼフィルス、ツシマヤマネコ、アマミノクロウサギ、ヤイロチョウ、ブナなど、希少な生きものを守るために活動している3団体です。



(公財)日本生態系協会



世界のヤイロチョウを営んでやろうという

(公社)生態系トラスト協会



公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

みどりの未来を
わたしたちの手で

(公財)大阪みどりのトラスト協会

昔ながらの町並みを守る

江戸時代から続く宿場町・妻籠宿の街並みと、周囲の森を、一体的に守る取り組みです。



(公財)妻籠を愛する会

川を守る、山を守る

清流・柿田川の自然環境を後世の人々に残していく活動に取り組む団体と、軽井沢にある愛宕山の山頂の森を守る活動に取り組む団体です。

両団体は以前の全国大会で知り合い、互いにトラスト地を訪ね合うなど交流を深めています。



特例認定NPO法人愛宕山てっぺんの森を守る会



(公財)柿田川みどりのトラスト

本日は、当協会の構成メンバー30団体のうち15団体から、思いのこもった熱い活動報告がありました。こうした各地域のトラスト団体が活動をスムーズに行えるよう、法律や制度の改正の提案、普及啓発事業などを行うことは、当協会の大きな役割だと思っています。

トラスト団体のない地域については、私たち本部が乗り出して土地を買う場合もあります。最近では相続した自然地の寄付も積極的に受け入れ、これまでに56か所のトラスト地を取得しています。今年度は、奄美大島と対馬に土地を確保しました。

奄美大島は8割が森ですが、そのうち国有林は6%しかなく、アマミノクロウサギなどの希少な生きもののすむ森も売買が進んでいま

日本もコロナ禍のために経済的、社会的に大きな打撃を受けています。特に高校野球のような大きなスポーツのイベントが中止や縮小をされると、青少年に与える影響は非常に大きなものがあります。

今回の全国大会はオンライン方式ということで、各団体の活動を動画で発表し、たいいへん意義があったのではないかと思います。しかし、大勢の前でスピーチをしているわけではなく、壁に向かって話すようなこととなり、心強さを感じ

ず。2年前には島内の嘉徳地域で7,422㎡を買い取りましたが、今年度はその資金を募るための寄付キャンペーンを実施、現時点で目標金額の8割に達しました。

ところで、私たちの活動はトラスト地を入手したら終わりなのではなく、その後もあります。たとえば税金ですが、自然を守るという公益目的での土地所有であっても、固定資産税の扱いは自治体によって判断が異なり、減免が認められない場合もあります。



当協会は、このような課題を解決し、全国のトラスト団体がより活動しやすくなるよう、努力を続けていきたいと思っています。



じられませんでした。コロナの収束は早急にはいきませんが、雨にも負けずコロナにも負けずという気持ちで頑張れば、必ず実現するのではないかと思います。

最後になりましたが、次回の全国大会はぜひ一堂に会して開催できることを念願し、閉会の挨拶をいたします。



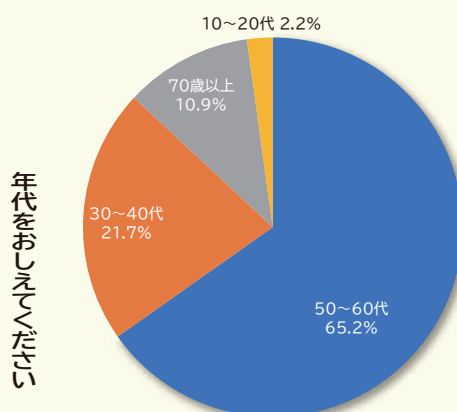
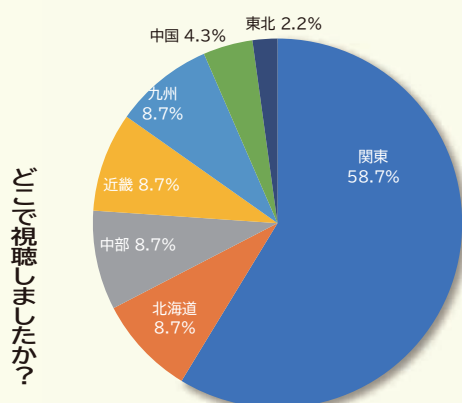
アンケートより

視聴後のwebアンケートでは、たくさんの回答をお寄せいただきました。

視聴地域は北海道から沖縄まで全国に及びますが、時刻どおりの配信後も録画を視聴できるため、場所や時間の制約はなく、これまでより数多く、

幅広い層の方々にご参加いただけたようです。

全国大会のオンラインでの開催は、ナショナル・トラスト活動の認知を広げることにつながったとともに、活動の現状や課題などの最新情報を広く発信するよい機会となりました。



オンライン開催について

- ・本来のかたちならば参加が叶わなかったため、オンライン配信により自宅にいながら貴重な報告を視聴できたことに感謝しています。
- ・コロナが終息した後も、Web配信を並行して行えると、参加する方も増えると思います。
- ・賛同者を増やすための有効な方法になりそうで、この方法での発信をぜひ続けていただきたいと思います。

地域のトラスト活動について

- ・コロナ禍でどの団体も活動が制約される中、熱心に取り組んでおられ感心しました。
- ・高齢のためイベント参加は難しくなりましたが、以前に参加した団体や地域が出てきて、興味深く拝見しました。皆さんまだまだ頑張っておられて、たいへん頼もしく思いました。
- ・多くのボランティアによってトラスト地が守られているのが分かりました。機会があれば活動に参加してみたいと思います。

ナショナル・トラスト活動について

- ・素晴らしい活動だと思うので、若者も多く巻き込み、もっと頻繁にイベントを行っていただきたいです。
- ・ナショナル・トラストの意義や協会からの報告が分かりやすかったです。特に税金の件は驚きで、全て非課税だと思っていました。
- ・知らなかったことが沢山ありました！
- ・自然の大切さを痛感しました。

* いただいたメッセージから一部を抜粋して掲載しました。

信託で守る ナショナル・トラスト

信託とは、英語で“トラスト”——
三井住友信託銀行では
信託を通じ、トラスト地の購入を支援しています。
これからも様々な側面からナショナル・トラスト活動を支援します。

最新のサステナビリティレポート2020/2021(自然資本編)では、自然資本を
守る事例としてナショナル・トラスト活動を取り上げています。

私たちの生活と経済は、多様な生物とそれを育む水、土壌、大気などの
「自然資本」とそれが生み出す生態系サービスの上に成り立っています。
自然資本を構成する自然資源を賢く活用し続けることは、環境保全だけでなく
社会の基盤を固め、経済の発展を持続可能なものにします。

サステナビリティレポートはこちら



三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

地球が輝き続ける、 まちづくりを。

私たちは「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」
という経営理念のもと、手掛ける建築・インフラの
ひとつひとつを丹精込めてつくってきました。
これからも豊かで安心・安全な「まちづくり」を通して、
サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ



株式会社 竹中工務店 <https://www.takenaka.co.jp/>

本社：〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

Tel: 06-6252-1201
Tel: 03-6810-5000

